



2024年7月1日発行
(毎月1日発行)
1984年8月15日第3種郵便物認可
発行所／(公財)熊本YMCA
〒860-8739
熊本市中央区段山本町4-1
Tel 096-353-6397(代)



YMCAユースボランティアリーダー
竹尾 光平 さん (大学3年生)

YMCA活動で「得している気分」

熊本YMCAのユースボランティアリーダーとして活躍する「パワフルリーダー」こと竹尾光平さん。小学校の教員を目指して大学で学んでいる竹尾さんにとってYMCAの活動は「刺激がたっさん」なのだそう。大学1年生の時に不登校児らの居場所づくりに取り組む「熊本YMCAぷらっとほーむ」でリーダー活動を始め、現在は子どもたちが年間を通して活動する野外活動クラブや季節のキャンプ、放課後等デイサービスにも関わっています。「大学の授業で教員としての指導案を作成します。野外活動クラブでは指導案につながる要素を学ぶことが多くて、私の案がクラスメイトに褒められた時はうれしかったですね。YMCAで活動することで、なんだか得している気分」と微笑みます。

ユースボランティアリーダーの活動では、どのプログラムも終了後にリーダー同士の振り返りを行ないます。自分たちがどのように子どもたちと向き合い、何にチャレンジできたのか。次の活動に向け、共有と整理を行なうことで、活動への意欲も増す時間です。自宅は八代市だという竹尾さん。大変なこともあるのでは？と尋ねると「距離が離れているから辛いというのはいません。子どもたちがいるから、今の自分があると思っています」と答えが返ってきました。

目指すは「パワフル・オリジナル」

上手くできなくても、これが自分だ

人懐っこい笑顔とよく通る声を武器に子どもたちと関わる竹尾さんですが、実は自分の内面を表に出すのは苦手なのだと言います。「昔、運動部に所属してた頃、上下関係が厳しくて『上手な人が偉いんだ』という風潮を感じました。いつの間にか自分の気持ちを押しさえつけるようになっていたんです。自分の意見を自ら出すことはなく、リーダー活動を始めてからも人前で話すことに苦手意識を持っていたそう。「上手くやろうとして失敗することが多かった」という竹尾さんですが、5月に開催された熊本YMCA定時会員大会が一つの転機となりました。

YMCAの活動を支える維持会員が一堂に会する熊本YMCA定時会員大会。竹尾さんは副実行委員長として社会人の会員らと一緒に準備段階から関わりました。当日は124名の参加者を前にピアノの技術を活かして第1部礼拝での讃美歌の奏楽者、そして第4部グループディスカッションの司会を務めます。「台本があっても頭は真っ白。奏楽も上手くできるだろうかと不安しなかった」という竹尾さん。「ガチガチだけど、いざやってみたら、参加者の皆さんが温かい目でみてくれた。認めてくれていることが分かってYMCAは『安心できる居場所』、『多様性を認めあえる場所』だと改めて感じたんです。上手くやろうと思わなくていい、『そのままの自分でいいんだ』と思えた瞬間でした」。



定時会員大会で司会を務める竹尾さん

熱意を形に

「ぶらっとほーむ」の子どもたちと向き合っていると、気持ちを表に出すのが苦手な自分と重ね合わせることがあると言います。「相手に合わせるのも大事だけれど、これから様々なことを学んでいくためには自分の思いを表現することは大切。今は、それができない子どもたちが多いのかなと感じます」。YMCAの活動の中で、子どもたちの思いを引き出していきたいと考えているそうです。「日本は民主主義というけれど、自分の意見を言えない社会が本当に民主主義と言えるのでしょうか？私や子どもたちの課題は社会全体の課題なのかもしれないと思うんです」と竹尾さんは語ります。

現在の課題は、一つひとつの活動を通して子どもたちに何を伝えるのか、いかに伝えていくかだという竹尾さん。「熱意だけではだめ。熱意をいかに形にするかが大切ですね」。同じく学生リーダーである「うどんリーダー」が手本なのだそう。「なんとか真似しようと思うけれど真似するだけなら『うどん・オリジナル』が広がるだけなので、『パワフル・オリジナル』を出していけるようにしたい。日々チャレンジです」。

現在大学3年生、学生生活は残り1年半となりました。就職と共に卒業するケースも多いリーダー活動ですが、竹尾さんは語ります。「YMCAの『ユース』は35歳までを指すそうですね。1年半といわず、35歳まではユースボランティアリーダーでいたい」。パワフルリーダーの挑戦は続きます。

Pickup

花の日特集

3面に関連記事



YMCA水前寺幼稚園
フラワーアレンジメント作りに挑戦



私たちの花を届けるよ
YMCA熊本五福幼稚園



YMCA永草保育園
手話の先生にありがとう

仲間を増やすためにできること 2024年度定時会員大会を開催



5月24日(金)、2024年度熊本YMCA定時会員大会を開催しました。熊本YMCA本館／グローバルコミュニティセンターを本会場とし、サテライト会場としてYMCA黒川保育園とオンラインでつなぎました。

第1部礼拝では、日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団希望ヶ丘教会牧師の本堀秀一さんが「私たちの言葉と私たちの使命」と題して奨励。続いて熊本YMCA会長の吉本貞一郎さんが「YMCAは様々な困難と対峙して行く必要があります。全ての会員の皆さんの力と知恵と様々なリソースをもってご協力いただければ幸いです」と挨拶しました。第2部表彰式では、会員在籍10年、20年、30年の皆さんに表彰状と記念品が手渡され、30年表彰を受けた岩本悟さんが挨拶しました。

続いて、第3部報告会では総主事の光永尚生さんから2023年度の事業報告及び2023年

度収支決算報告及び監査報告、2024年度の事業計画及び2024年度収支予算についての報告がなされました。

第4部はグループディスカッションが行われ、「YMCAの仲間(会員)を増やすために私たちができること」をメインテーマに、参加者からYMCAの魅力やYMCAに関わる理由などが語られました。「信頼できる」「いろんな人が集まる、多くの方と交わることができる」「YMCAでの様々な研修などを通して、価値観が変わった」「それぞれの賜物を知り、もっと頼ることが、会員のやりがいにつながるのではないかな」などの意見がかわされました。グループディスカッションの意見を受けて、今後、実際の会員増強のための取組みを具現化することを確認。最後にユースボランティアリーダーらによる歌のレクリエーションが行われ、和やかな雰囲気の中、終了しました。



第1部礼拝



第3部報告会

定時会員大会礼拝奨励より

日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団希望ヶ丘教会

本堀 秀一



マタイによる福音書 16章15節〜16節

イエスが言われた。「それでは、あなたがたはわたしを何者だと言うのか。」シモン・ペトロが、「あなたはメシア、生ける神の子です」と答えた

私たちの言葉と私たちの使命

この聖書の箇所は、イエスが弟子たちに「人々は私のことをどう言っているのか」と聞き、弟子たちがイエスの評判について報告をします。それを聞いた後に、イエスは問いかけるのです。「それでは、あなたがたは私のことを何者だと言うのか」。

時代が閉塞感を感じるようになると、私たちはどこかに突破口を見出したいという気持ちになります。今や様々なセミナーは花盛りです。そこで学ぶ事も多いと思いますがそれらに振り回されている人もいます。私たちは人の言葉、人の評価を参考にします。目標とする人物を真似るかもしれません。それも必要な事ですが、それは私たちのゴールではありません。大切な事は「それで、あなたはと思うのか」です。私はその事に対して何を感じ、考えているのか。という問いです。

イエスの問いにペテロは答えます。「あなたは神の子、メシアです」。これは誰かの言葉ではなく、ペテロ自身の言葉であり、オンラインワンです。イエスはペテロに言います。あなたの上に教会を建てよう。この後、教会が生まれて世界中へ広がります。その中に私たちのYMCAの働きもあるのです。ペテロの言葉によって世界中に教会が広がっていったように、私たちの言葉が社会を変える一滴になるでしょう。そしてその言葉の上に、私たちの使命があるのです。産業革命の時代と現代社会が抱える問題や求められる事は違います。しかし時代が変化しても、キリスト教精神に基づく私たちの使命は変わりません。

今日、皆さんはYMCAへの様々な思いを持ち、参加しておられると思います。その皆さんの思いを、願いを、言葉として、これからの働きを構築していただけたらと願っています。



答えの出ない事態に耐える力

数年前になりますが、「ネガティブ・ケイパビリティ」という言葉に出会いました。ネガティブ・ケイパビリティ(Negative Capability)とは、「どうにも答えの出ない、どうにも対処しようのない事態に耐える力」を指します。あるいは、「性急に証明や理由を求めず、不確かさや不思議さ、懐疑の中にいることができる能力」を意味しています。また、負の能力もしくは陰性能

力という言い方もあります。

私は、阿部志郎さんからお聞きしたのが最初でしたので、今回紹介する常木蓬生さん著『ネガティブ・ケイパビリティ 答えの出ない事態に耐える力』(朝日新聞出版)を読むまでは、何となくという理解のままで数年過ごしてきたことになります。

能力といえば、通常は何かを成し遂げる能力を意味しています。しかしここでは、何かを処理して問題解決をする能力ではなく、そういうことをしない能力が推奨されているのです。しかもその能力を、かのシェイクスピアが持っていたというのですから、聞き捨てなりません。私たちは、「能力」といえば、才能や才覚、物事の処理能力を想像します。学校教育や職業教育が不断に追求し、目的としてきたのもこの能力

です。問題が生じれば的確かつ迅速に対処する能力が養成されます。

今の急激な変化の時代の中で、私たちの教育に対する考え方が問われています。私たちのYMCAは、社会教育を実践する場として、長く社会に貢献してきたと自負していますが、これからの社会への貢献に必要なものは何か。問題を性急に推定せず、生半可な意味づけや知識でもって、未解決の問題にせっかちに帳尻を合わせず、宙ぶらりんの状態を持ちこたえるのがネガティブ・ケイパビリティだとしても、実践するのは容易ではありません。しかし、私にはこの力が、何か秘められた力に想えてなりません。21世紀の道を拓く、平和を創り出す力であることを祈りながら考えます。

R | E | P | O | R | T

[6月1日⇒ 6月7日]

トラベル

海の豊かさを実感 フィッシングツアーを開催



YMCATravel 堤雄一郎

6月1日(土)～2日(日)、YMCATravelが主催し、上天草大矢野町の旅館を拠点に「太公望フィッシングツアー2024」を開催。家族連れなど12名が参加しました。このツアーは、釣りに興味はあるものの、経験や知識がないために不安がある人を対象に、海の豊かさ、自然の恵みの大切さを感じる機会を提供することを目的に企画。釣り歴30年以上のベテラン職員が同行しました。

ツアー初日、参加者たちはまず釣り道具の基本

的な使い方を学び、その後、ライフジャケットを着着して実際に釣りを楽しみました。2日目は早朝4時半に起床し朝釣りを開始。前日に仕掛けておいたカニカゴを引き上げてみると、タコが入っていた子どもたちはびっくり。その後も磯遊びや場所を移動しての釣りに挑戦しました。

参加者からは、「親子で釣りをしてみたいと思っていたけれど、自分自身、経験がなく挑戦できていませんでした。このツアーで学び、実際にたくさん釣りが上がることができました。これからは親子で釣りに行けそうです」など、喜びの声が寄せられました。



ユース

ユースボランティアリーダーが集結 入会式を開催



東部グローバルコミュニティプラザ 下田大雅

6月2日(日)、東部グローバルコミュニティプラザで2024年度熊本YMCAユースボランティアリーダー入会式を開催。今年度から熊本YMCAで活動を始めたリーダーや先輩リーダーら22名、ワイズメンズクラブから3名、熊本YMCA職員6名が参加しました。

開会礼拝にはじまり、総主事の光永尚生さんによる挨拶、ユースボランティアリーダー委嘱状の授与式が行われました。日頃は、野外活動クラブ、スポー

ツスクール、ぷらっとほーむなど、活動内容も拠点も異なるリーダーたち。昼食を食べながらの活動紹介では話が盛り上がり、自然と打ち解けている様子でした。また、5月に行われた第55回全国YMCAリーダー研修会に参加した3名のリーダーたちによる報告会や自己紹介の時を持ちました。

その後のグループディスカッションで「理想のリーダー像」について自身の考え、目指すものを語り合うリーダーたちの姿はとても輝いていました。1日を通して、彼らのまっすぐな想いや情熱を感じる会となりました。



花の日

日頃の感謝を込めて 子どもたちが地域を訪問



YMCA水前寺幼稚園 寒川恵美

6月第2日曜日は「花の日」です。花の日とはキリスト教の行事の一つで、花も人も神様から与えられ守られ愛されて育ってきたことを感謝する日。熊本YMCAの幼稚園、保育園、幼児園では、花の日の前後に礼拝を行ったり、園児たちが普段お世話になっている地域の皆さんに感謝を込めて花を渡すなどしています。

YMCA水前寺幼稚園では事前に年長組の子どもたちがフラワーアレンジメント作りに挑戦。保護者

会から寄贈された花で心を込めて作ったアレンジメントをもって、6月6日(木)に全学年の子どもたちが近隣の企業や施設を訪問しました。

年中クラスの子供たちは中央消防署出水出張所を訪れ、大きな声で「守ってくれてありがとう」と職員の皆さんに感謝の言葉を伝えることができました。代表の園児がアレンジメントを渡したあとは質問タイム。「僕も消防士になりたいです」と話す園児には「たくさん食べてお勉強がんばったらなれるよ!」と励ましの言葉が返され、子どもたちにとって忘れられない1日となりました。



社会貢献

21チームが参加 チャリティボウリング大会を開催



YMCAフィランソロピー協会事務局 大塚永幸

6月7日(金)、企業と企業人の社会貢献を推進するYMCAフィランソロピー協会が第19回チャリティボウリング大会を開催しました。ボウリング王国スポーツ熊本店を会場に14企業・団体から21チームが参加。1チーム4名、2ゲームで競いました。ストライクを出したら100円を募金箱に入れる「チャリティー・ストライク募金」やお楽しみ抽選会も実施しました。

優勝は肥後銀行味噌天神支店の「おみそ」チー

ム。ハイスコア賞も「おみそ」チームのメンバーで、2ゲームで400点越えの好成績に会場から大きな拍手が送られました。今年の益金は「ひとりじゃないよ」を合言葉に、生きづらさを抱える一人暮らしの人たちがお互いに支え合う活動が続ける「NPO法人でんでん虫の会」の支援に用いられます。目録を受け取ったでんでん虫の会の代表である吉松裕藏さんは「でんでん虫の会は、孤立される方々へ“ひとりじゃないよ”と呼びかけて活動をしています。今日は自分たち“でんでん虫の会”自体もひとりではないことを実感しました」と感謝を述べました。



I n f o r m a t i o n

行こう 見よう 深めよう

2歳児・年少児から参加可能 夏休みこどもプログラム

夏休みはプールや体操、サッカーなどにチャレンジしませんか？水泳、体操は2歳児（ながみね）または年少児（みなみ・むさし）から参加可能です。はじめてでも大丈夫。リーダーと一緒に楽しみましょう。



みなみグローバルコミュニティセンター（南区田迎）

☎ Tel 096-353-6391（音声ガイダンス2）

- 水泳教室（年少児～小学生）
- 体操教室（年少児～小学生）
- 特別プライベートレッスン（水泳・体操・サッカー・かけっこ）
- 夏休みサザンスクール（小学生）

むさしグローバルコミュニティセンター（合志市幾久富）

☎ Tel 096-353-6391（音声ガイダンス4）

- 特別水泳教室（年少児～小学生）
- 特別体操教室（年少児～小学生）
- 特別プライベートレッスン（体操、水泳、基礎運動）



ながみねファミリーセンター（東区長嶺南）

☎ Tel 096-353-6391（音声ガイダンス3）

- 水泳教室（2歳児～中学生）
- 体操教室（2歳児～小学生）
- スキルアップサッカー教室（年長～小学生）
- 特別プライベートレッスン（水泳・体操・サッカー・かけっこ）
- お預かりサマースクール（小学生）

東部グローバルコミュニティプラザ（中央区帯山）

☎ Tel 096-382-6661

- HIP-HOP（年中児～中学生）
- プログラミングスクール（年中児～中学生）
- ぶらっとサマースクール（小学生）

サマーキャンプも申込み受付中

詳細・お申込みはWebで▶



BAPY基金（参加費減免制度）のご案内



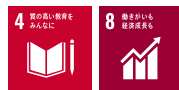
公益財団法人熊本YMCAはすべての子どもたちがYMCAのプログラムに参加できるための、BAPY基金（参加費減免制度）を設けています。

ひとり親世帯や、特別児童扶養手当受給世帯等、YMCAのプログラムに、経済的理由により参加できない子どもたちに対して、費用の一部または全

額を減免します。夏休みスポーツスクール、キャンプも減免対象となります。詳細はどなたでも、各拠点の館長までご遠慮なくお尋ねください。

※BAPYとは“BE A PARTNER OF THE YOUTH”の略で「青少年のパートナーになる」という意味を表し、皆様からの尊いご寄付によって支えられています。

キッチンカーも登場 熊本YMCA学院 オープンキャンパス特別版を開催



体験
×
進学

熊本YMCA学院がオープンキャンパス特別版を開催します。各学科が目指す職種の現場を訪問。実際の仕事を体験するチャンスです。またキッチンカーも登場。楽しみながら熊本YMCA学院の先輩たちに学生生活について聞いてみましょう。



8月4日（日）オープンキャンパス特別版

☎ 8月4日（日）9:30～12:00 場 熊本YMCA本館／グローバルコミュニティセンター

☎ 体験授業（建築科、ホテル観光科、医療秘書科、健康スポーツ科、こども保育科）

その他のオープンキャンパス

☎ 7月20日（土）、8月21日（水）、9月21日（土）9:30～12:00 オープンキャンパスの
申込はWebで▶

今年からスタート。 総合型選抜入試説明会も受付中

☎ 9月7日（土）10:00～11:00 場 熊本YMCA学院 Tel 096-353-6393



子どもたちの職業観を育む 「おしごとカフェ」 出展企業募集



こども
×
社会人

企業と企業人の社会貢献を推進するYMCAフィランソロピー協会が、児童養護施設で暮らす子どもたちなどを対象に「おしごとカフェ」を開催します。子どもたちの「仕事観」や「職業観」を育むこと、将来の担い手育成に取り組むことが目的。各企業がブースに分かれて自社の仕事の内容などを紹介します。昨年は5企業・団体が参加しました。



☎ 8月7日（水）14:00～16:00

場 熊本YMCA本館／グローバルコミュニティセンター（熊本市中央区段山本町） ☎ おしごとマナー講座、おしごと説明会（6施設の子
どもたちが参加予定） ☎ Tel 096-353-6397

email ymca.philanthropy@gmail.com

詳細・出展登録はWebで▶



日 日時 場 会場 内 内容 費 参加費 定 定員 条 参加条件 持 持ち物 対 対象 催 主催 締 締切 申 申込 問 問合せ 他 その他

次号は8・9月合併号として、8月下旬に発行予定です。

発行所／（公財）熊本YMCA
〒860-8739 熊本市中央区段山本町4-1
TEL 096-353-6397（代）
発行人／光永 尚生 編集人／大塚 永幸
定価60円 購読料は会費に含む
www.kumamoto-ymca.or.jp



Facebook

熊本YMCAの使命

共に生きる社会 生涯学習の推進 ボランティア活動
地球環境の保全 ウエルネス活動 平和な世界

2024年度基本聖句

マタイによる福音書 5章16節
あなたがたの光を人々の前に輝かしなさい。